



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月24日
我孫子市小中一貫教育だより
第358号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと・Abi-キャリア「みつけよう！楽しもう！手賀沼探検隊」

我孫子第一小学校に我孫子第四小学校の4年生が、総合的な学習の時間での交流のため来校しました。どちらの4年生も身近な我孫子の自然であり、シンボルでもある手賀沼について、互いの学習成果を伝え合い、手賀沼についてより理解を深めようというものです。



簡単なレクで打ち解けた後、まずは四小の4年生が発表です。一人一人が自分のテーマに沿って調べてまとめたものを一小的4年生に伝えました。タブレットの画面を見せたり、リーフレットにまとめたものを指したりと、個々のスタイルで一生懸命伝えていました。次は一小が発表の番です。同じテーマの友達同士でグループを作り、モニターに映したり、チラシを配ったり、実演して見せたりと、発表方法は各グループ様々でした。どちらの4年生もメモをとりながら発表を熱心に聞き、手賀沼の理解を深めました。

終わりの会では、「一小と四小で仲良くなれた。みんなの発表が上手でいろいろわかった。」
「お互いに伝えあって、手賀沼のことがもっと知れて楽しかったし、また交流したい。」と振り返りがありました。手賀沼のことをさらに知り、「手賀沼を大切にしたい」という共通の思いをさらに膨らませることができました。同じ中区の小小のつながりが、この先様々な形で無理なく続いていき、中学校も含めた小中一貫教育に生かされることが期待できる交流でした。

Abi-ふるさと・Abi-キャリア「地震から暮らしを守る」

高野山小学校 4年生の社会科「風水害から暮らしを守る」の単元で「自助」に焦点を当て、災害に対する意識を高めることを目的とした授業が展開されました。



「災害に備えて自分たちはどのようなことをすればよいだろうか」という学習課題が提示されると、家族へのインタビューや自分で調べてきた「災害への備え」に関する事柄を記入した付箋を模造紙に貼っていきました。活動は班ごとで行い「何のために」「どんな時に」という視点で付箋のグループ分けをしました。付箋を貼った模造紙を黒板に貼り出し、全体で共有をすると、「家の中にも怪我をしないための備えがある。」「ガス、水、電気が使えなくなったときの備えがある。」「生活に必要なものや食料品が多い。」ということに気がきました。



最後に、これまでの学習と今日の学習から大切だと思うことを考えました。ライフラインが途絶えたらと想像し、その中でどのように正確な情報を得て避難するのかを真剣に話し合うことで、学びが積み重なっていくことを感じました。実践を中学校区で共有し、さらに発展させた中学校のカリキュラムへと一貫していくことを願っています。